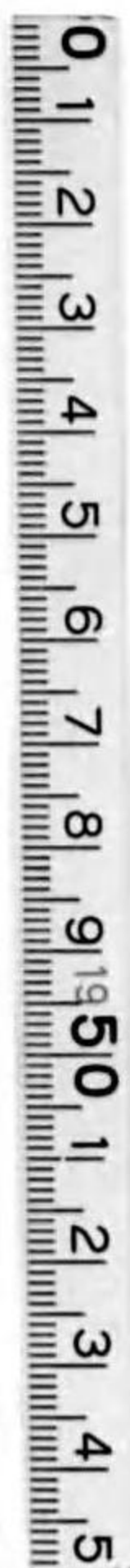


5枚

高麗茶

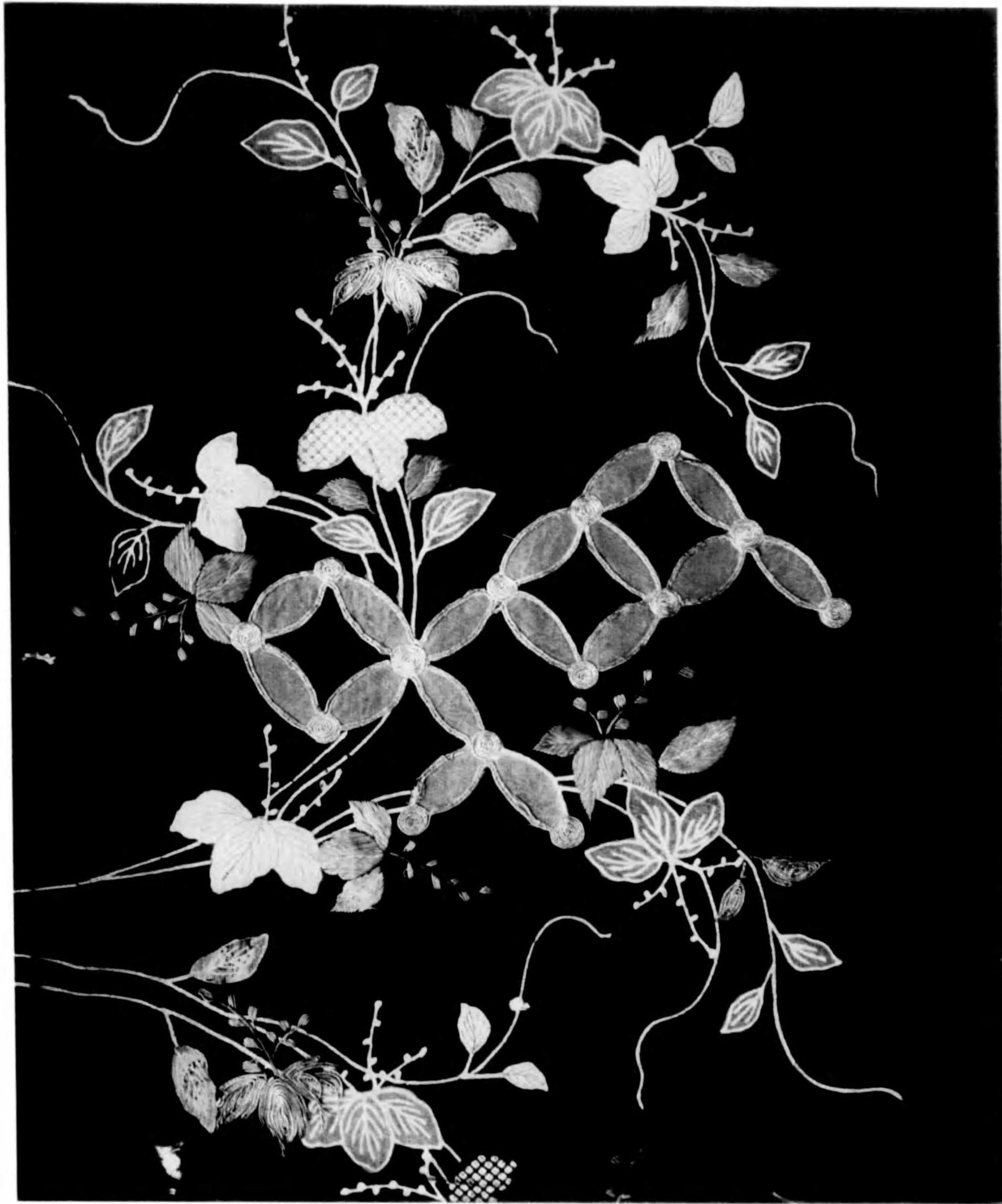
号十

大正
14.12.22
内装



始





第 壹 章
享 保 頃

享保頃の御服である。その頃は總て加
 賀で加工されたものとして稀有の參考
 品だと考へられる。
 摺込みにいくらかの遜色を認めらる。

No. 1

This cloth was woven at Kyoho period and this dying is called
 Goten. It is quite worthy of our attention and very rare material
 although it is not in a good state of preservation.



貳 第
頃 曆 明

仕入物であらうと私は考へてゐる。
 臭いところの窺はれるのは其頃の所謂
 明曆頃のものと思はれるが何處かに水

No. 2

This cloth was dyed at Meireki period. It was not highly valued

and was made as sale work at that time.

織十第集れが古



藝 第

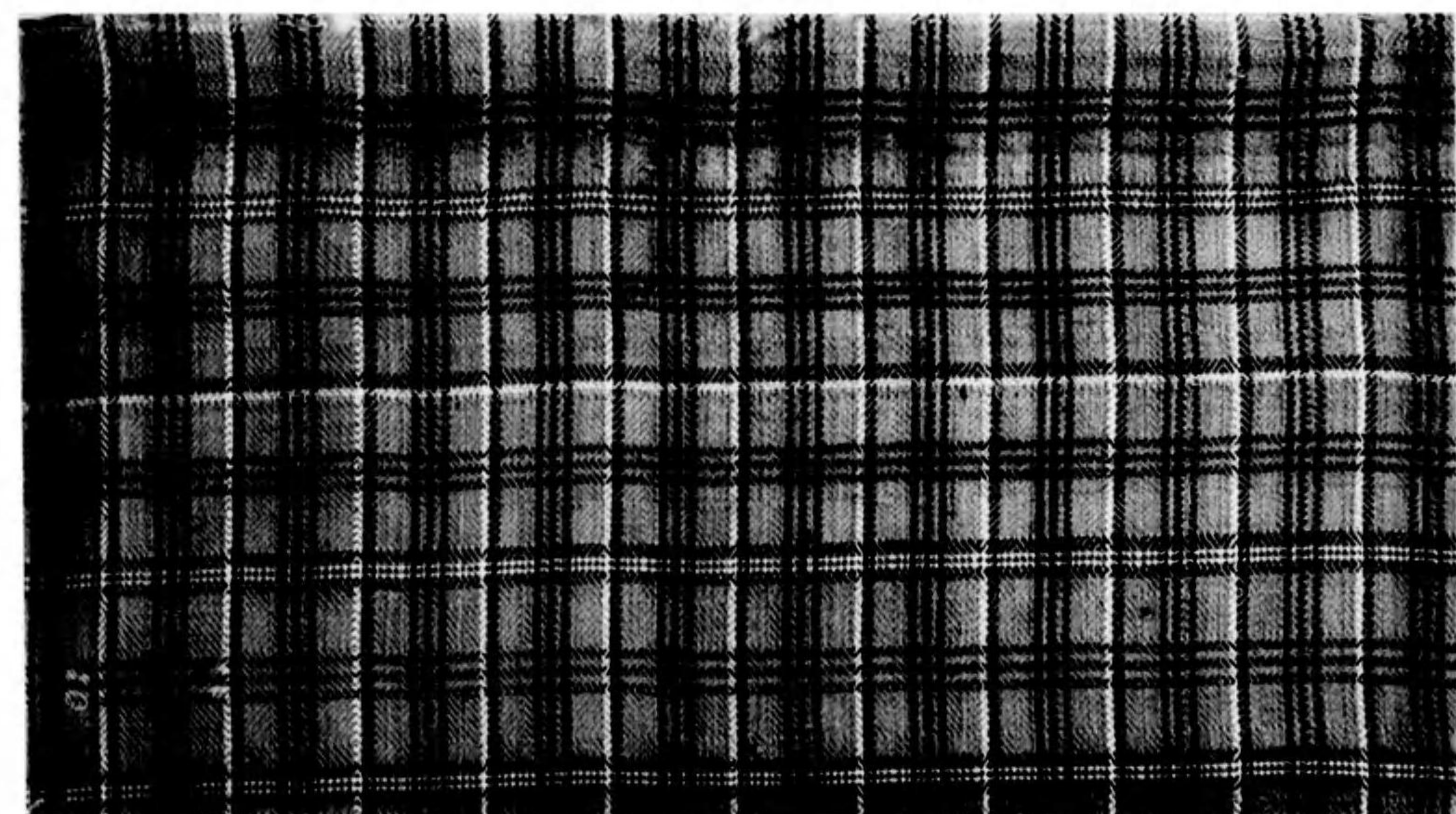
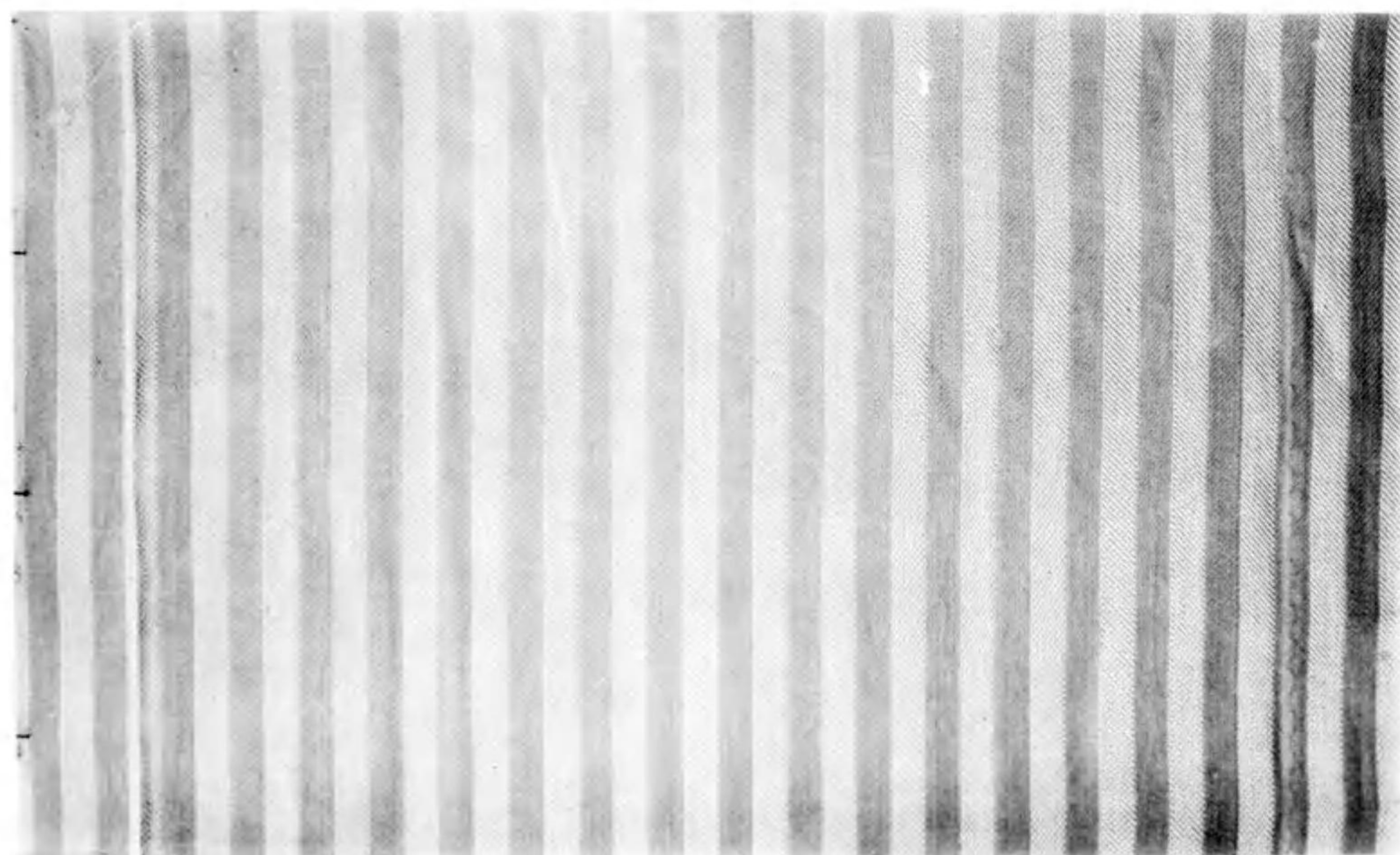
頃 政 化

地質は羽二重風の平物である鹿の子の
 部分は全部打出しになつてゐるが、今日
 はこれを作る職人はもうないとの事
 ある尤もこれは續いても惜くない技
 巧
 ではあるが。

No. 3

This material is called Habutai. This applique was painted by

a special art which is gone out now in Japan.



四 第
頃 政 化

化政前後尤も流行を極めた八反である。
上圖の細地は着用に下圖の太地俗に越
といふは帯地用である。

No. 4

These two clothes are called Hattai. They were in fashion at the periods of Bunica and Bunsei. One of them was used as a sash of young woman.



五 第

頃 保 享
 抜 に 有 二
 な 好 ま る 百
 こ 好 ま る こ う 年
 ら だ れ た も の し 以
 ず べ た も の だ ら 前
 推 事 だ ら べ の 遊
 知 推 事 だ ら 女 の
 す 知 事 だ ら 仕
 る が 事 だ ら 掛
 出 事 だ ら け
 來 事 だ ら の
 奇 案 部 分
 案 部 分
 奇 案 部 分

No. 5

This cloth was used as a over-dress of young social girls, over two hundred years ago. They required such an attractive and luxurious designs. So it was highly valued at that time.

終

大正十四年十二月廿五日印刷
大正十四年十二月廿五日發行

編輯者 植 淵
印刷者 植 淵
發行所 大正市南區八幡橋西側堀東
だるまや書店
電話南四九四九番
西區穴原一七〇番

木村 助 次 郎

(附表紙十第集れき古)